

仮定法で話す・書く (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 仮定法を使って、自分の「もしも」を3文以上で話し、まとまりのある英文で書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

If I had one whole day with no classes and no homework, I would sleep until noon.

授業も宿題もない丸一日があったら、昼まで寝るのに。

In the afternoon, I would watch three movies with a big bowl of popcorn.

午後はポップコーンをかかえて映画を3本見る。

I know it sounds lazy, but if we never rested, we could not keep running.

だらけて聞こえるのはわかってる。でも、休まなければ走り続けることはできない。

型で書く 型で書く—自分のことを3文 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、動詞の形だけチェックし合おう。

(1) If I had _____, I would _____. 今持っていないものを持っていたら

(2) If I could _____, I would _____. できないことができたなら

(3) I wish I _____. かなわない願いをひとつ

ペアで話す ペアで話す—「もしも」インタビュー

交代で質問→答えは1文+理由ひとこと。答えに Really? Why? を1回は返す (会話を1往復のばす練習)。

(1) What would you do if you had a million yen?

百万円あったら何をする?

(2) If you could live anywhere in the world, where would you live?

世界のどこにでも住めるなら、どこに住む?

(3) If you could talk to your ten-year-old self, what would you say?

10歳の自分と話せるなら、何と言う?

(4) What do you wish you could do right now?

今この瞬間、できたらいいのと思うことは?

あいづち・返しの型: Sounds nice! Really? Why? Me too. That's so you. I didn't expect that!

仮定法で話す・書く (標準) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

If I could change one thing about my school life, ... (学校生活をひとつ変えられるなら)
①何を変えるか (仮定法で) ②そうしたらどうなるか (仮定法で) ③ひとこと理由や本音—の3段で、60語前後。

評価 先生はここを見ます (加減点式)

仮定法の文を2文以上、正しい形で使えている	+4点
「変えること→どうなるか→理由」の流れがある	+3点
自分にしか書けない具体がある (固有の場面・気持ち)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ